

スポーツ施設再編計画

平成31年2月

加古川市

スポーツ施設再編計画の対象施設は、以下の 16 施設です。

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	割合※
1	日岡山体育館	神野町	S52	4,481 m ²	0.65%
2	総合体育館	西神吉町	H16	10,027 m ²	1.46%
3	志方体育館	志方町	S59	962 m ²	0.14%
4	武道館	加古川町	H3	2,434 m ²	0.35%
5	日岡山公園野球場	加古川町	S57	350 m ²	0.05%
6	加古川運動公園陸上競技場	西神吉町	H9	3,066 m ²	0.45%
7	日岡山公園グラウンド	加古川町	—	—	—
8	日岡山公園第1テニスコート	加古川町	—	—	—
9	日岡山公園第2テニスコート	加古川町	S56	110 m ²	0.02%
10	志方東公園テニスコート	志方町	S61	129 m ²	0.02%
11	日岡山市民プール	神野町	S52	645 m ²	0.09%
12	浜の宮市民プール	尾上町	H8	660 m ²	0.10%
13	加古川スポーツ交流館	別府町	H13	2,023 m ²	0.29%
14	平荘湖アクア交流館	平荘町	S57	3,819 m ²	0.55%
15	屋内ゲートボール場すばーく 加古川	尾上町	H10	1,202 m ²	0.17%
16	漕艇センター	上荘町	H8	1,753 m ²	0.25%

※加古川市公共施設等総合管理計画においては、平成 27 年 3 月 31 日時点の公共施設の延べ床面積（688,458 m²）を基準として、平成 38 年度までに 6%（約 4.1 万m²）削減することを目標にしているため、それに対する割合を示しています。

スポーツ施設

【体育館】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	日岡山体育館	神野町	S52	4,481 m ²	指定管理
2	総合体育館	西神吉町	H16	10,027 m ²	指定管理
3	志方体育館	志方町	S59	962 m ²	指定管理

●共通

現状と課題
◆主にバレーボール、卓球、バドミントン、バスケットボール等に利用されています。 ◆休日、夜間等には小・中学校内の体育館を、一般の方に貸し出しています。 ◆民間においては、類似サービスの提供はありません。 ◆近隣自治体においても、類似サービスを提供しています。

今後の方向性
◆利用状況等から現在の保有量に過不足は確認できず、民間等による代替性もないことから、現在の保有数を維持することとします。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。

1. 日岡山体育館

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆スポーツジムを併設しています。 ◆会議室、幼児体育室の利用が低調です。 ◇利用者数：130,971 人／年 ◇利用率：競技場 84%、多目的室 63%、会議室 17%、幼児体育室 16% ◇支出：70,133,705 円 ◇収入：24,142,402 円 ◇差引（支出－収入）：45,991,303 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 351 円
建物	◆平成 27 年度に床の貼り替えを実施しました。

今後の方向性	
機能	◆体育館としての機能を維持します。 ◆会議室、幼児体育室の利用率向上に取り組みます。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。

2. 総合体育館

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆フットサル、ハンドボールでの利用も可能です。 ◆スポーツジムを併設しています。 ◆一流スポーツを「みる」ための体育館として、選手控室やサブアリーナが整備されるなど高機能化されています。 ◇利用者数：145,838 人／年 ◇支出：162,023,391 円 ◇収入：33,604,617 円 ◇差引（支出－収入）：128,418,774 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 881 円
建物	◆PFI 事業により建設され、特定事業契約（平成 36 年度まで）に基づく予防保全を実施しています。

今後の方向性	
機能	◆体育館としての機能を維持します。 ◆PFI 事業終了後の平成 37 年度以降は、指定管理者による管理運営について検討します。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施し、「みる」スポーツの環境を維持するとともに、長寿命化を図ります。

3. 志方体育館

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆バスケットゴールは設置されていません。 ◆会議室の利用が低調です。 ◇利用者数：27,373 人／年 ◇利用率：体育室 59%、研修室 29%、和室 8%、会議室 4% ◇支出：8,211,403 円 ◇収入：4,035,926 円 ◇差引（支出－収入）：4,175,477 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 153 円
建物	◆競技場に空調は設置されていません。

今後の方向性	
機能	◆体育館としての機能を維持します。 ◆会議室の利用率向上に取り組みます。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。

【武道館】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	武道館	加古川町	H3	2,434 m ²	指定管理

1. 武道館

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆主に柔道、空手、剣道、合気道、少林寺拳法、なぎなた等で利用されています。 ◆畳の第 1 武道場と板間の第 2 武道場があります。 ◆会議室の利用が低調です。 ◇利用者数：39,514 人／年 ◇利用率：武道場 61%、会議室 24% ◇支出：12,018,248 円 ◇収入：3,470,192 円 ◇差引（支出－収入）：8,548,056 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 216 円 ◆休日、夜間等には中学校内の武道場を、一般の方に貸し出しています。 ◆民間においては、類似サービスの提供はありません。 ◆近隣自治体においても、類似サービスを提供しています。
建物	◆空調設備がありません。 ◆第 2 武道場の板間が劣化しています。

今後の方向性	
機能	◆利用状況等から現状の武道館の保有量に過不足は確認できず、民間等による代替性もないことから、武道館としての機能を維持します。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。 ◆会議室の利用率向上に取り組みます。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。

【野球場】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	日岡山公園野球場	加古川町	S57	350 m ²	指定管理

1. 日岡山公園野球場

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆主に野球、ソフトボールに利用されています。 ◆園路歩行者や近隣民家への飛球防止のため、硬式野球（少年野球除く。）は、禁止しています。 ◆休日の利用率は高いものの、平日昼間の利用率は低くなっています。 ◇利用者数：18,588 人／年 ◇利用率：グラウンド 48% ◇支出：45,633,066 円 ◇収入：3,420,637 円 ◇差引（支出－収入）：42,212,429 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 2,271 円 ◆無料の浜の宮公園市民運動場、志方東公園多目的グラウンド、長楽園グラウンド、河川敷グラウンド（河原、両荘）においても、類似サービスを提供しています。 ◆民間においては、類似サービスの提供はありません。 ◆近隣自治体においても、類似サービスを提供しています。
建物	◆スコアボードの老朽化が進んでおり、掲示内容が見づらくなっています。 ◆フィールド内の暗渠排水機能が低下しており、水はけが悪くなっています。

今後の方向性	
機能	◆利用状況等から現状の野球場の保有量に過不足は確認できず、民間等による代替性もないことから、野球場としての機能を維持します。 ◆軟式野球、ソフトボールに限定した運用を継続します。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。

【陸上競技場】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	加古川運動公園陸上競技場	西神吉町	H9	3,066 m ²	指定管理

1. 加古川運動公園陸上競技場

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆主に各種陸上競技、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール等に利用されています。 ◆400m×9レーンのメイントラックと 300m×5レーンのサブトラックがあります。 ◆スポーツジムを併設しています。 ◆休日や学校の長期休業期間は各種競技大会等に利用されており、平日は個人利用による陸上競技の練習利用が多くあります。 ◇利用者数：130,221 人／年 ◇支出：40,943,092 円 ◇収入：5,916,275 円 ◇差引（支出－収入）：35,026,817 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 269 円 ◆無料の両荘陸上競技場（河川敷）においても、類似サービスを提供しています。 ◆民間においては、類似サービスの提供はありません。 ◆近隣自治体においても、類似サービスを提供していますが、日本陸上競技連盟 1 種公認は県内 2 か所（加古川運動公園陸上競技場、三木総合防災公園）となっています。
建物	◆主競技場は日本陸上競技連盟第 1 種公認及び国際陸上競技連盟 Class2 を取得しています。また、補助競技場は日本陸上競技連盟第 4 種公認を取得しています。 ◆観覧席等の防水に不具合が生じており、平成 30 年度から平成 31 年度にかけて、長寿命化の改修工事を実施しています。

今後の方向性	
機能	◆利用状況等から現状の陸上競技場の保有量に過不足は確認できず、民間等による代替性もないことから、陸上競技場としての機能を維持します。 ◆現在取得している各種公認の継続には、多額の改修費用がかかることから、公認継続の必要性について検討します。 ◆P F I 事業終了後の平成 37 年度以降は、指定管理者による管理運営を検討します。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。 ◆広域的な利用の促進を図ります。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。

【グラウンド】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	日岡山公園グラウンド	加古川町	—	—	指定管理

※公共施設等総合管理計画の対象となる建築物はありませんが、本施設はスポーツ施設と一体で方向性を示す必要があることから、本計画で記載しています。

1. 日岡山公園グラウンド

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆主にサッカー、ラグビー、グラウンドゴルフに利用されています。 ◆利用率は非常に高くなっています。 ◆利用料金は近隣自治体と比較し、安価になっています。 ◇利用者数：60,418 人／年 ◇利用率：90% ◇支出：6,674,847 円 ◇収入：3,978,900 円 ◇差引（支出－収入）：2,695,947 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 45 円 ◆休日等には小学校内の運動場を、一般の方に貸し出しています。 ◆総合運動公園陸上競技場、無料の両荘陸上競技場（河川敷）においても、類似サービスを提供しています。 ◆民間においては、類似サービスの提供はありません。 ◆近隣自治体においても、類似サービスを提供しています。
建物	◆人工芝が劣化しています。

今後の方向性	
機能	◆利用状況は飽和状態にあるため、片面利用の導入について検討します。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。
建物	◆財政状況等を考慮しながら、可能な限り早期に人工芝の貼り替えを実施します。 ◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。

【テニスコート】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	日岡山公園第1テニスコート	加古川町	—	—	指定管理
2	日岡山公園第2テニスコート	加古川町	S56	110 m ²	指定管理
3	志方東公園テニスコート	志方町	S61	129 m ²	指定管理

※日岡山公園第1テニスコートには公共施設等総合管理計画の対象となる建築物はありませんが、本施設はスポーツ施設と一体で方向性を示す必要があることから、本計画で記載しています。

●共通

現状と課題
◆主にテニスに利用されています。 ◆無料の河川敷（河原、両荘、米田）テニスコート、小柳公園テニスコートにおいても、類似サービスを提供しています。 ◆民間においても、類似サービスを提供しています。 ◆近隣自治体においても、類似サービスを提供しています。 ◆利用料金は近隣自治体の公営テニスコートと比較し、高額となっています。

今後の方向性
◆利用状況よりテニスコートの保有量が過剰であることなどから、日岡山公園内は1か所に集約することを検討します。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。

1. 日岡山公園第1テニスコート

現状と課題（◇のデータは平成28年度実績）	
機能	◆第2テニスコートと隣接しています。 ◇利用者数：16,339人／年 ◇利用率：52% ◇支出：5,378,770円 ◇収入：7,019,509円 ◇差引（支出－収入）：▲1,640,739円 ◇公費負担：利用者1人あたり▲100円
建物	◆人工芝のコート4面を有しています。 ◆人工芝は平成25年度に貼り替えました。

今後の方向性	
機能	◆テニスコートとしての機能を維持します。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。

2. 日岡山公園第2テニスコート

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆日岡山公園第1 テニスコートと隣接しており、第1 テニスコートと比べて、利用率が低くなっています。 ◇利用者数：8,639 人／年 ◇利用率： 30% ◇支出：3,185,481 円 ◇収入：1,464,320 円 ◇差引（支出－収入）：1,721,161 円 ◇公費負担：利用者1 人あたり 199 円
建物	◆クレイコート1 面、アンツーカーコート4 面を有しています。 ◆暗渠排水機能が低下しており、水はけが悪くなっています。 ◆冬期は凍結し使用できないことが多くあります。

今後の方向性	
機能	◆隣接する日岡山公園第1 テニスコートと比較して利用状況が悪く、年間を通して安定した利用ができないことから、次期指定管理者の指定期間である平成 35 年度末での廃止を検討します。
建物	◆廃止後の跡地については、スポーツ施設や駐車場としての活用を検討します。

3. 志方東公園テニスコート

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆管理事務所は隣接する志方東公園多目的グラウンドの受付等も行っています。 ◆利用率は低い状況です。 ◇利用者数：6,161 人／年 ◇利用率： 26% ◇支出：5,990,856 円 ◇収入：2,973,914 円 ◇差引（支出－収入）：3,016,942 円 ◇公費負担：利用者1 人あたり 490 円
建物	◆人工芝のコート4 面を有しています。

今後の方向性	
機能	◆テニスコートとしての機能を維持します。 ◆利用率が低く、民間施設等でも代替が可能であることから、今後のあり方について検討します。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施します。なお、存続させることを決定した場合には、長寿命化を図ります。

【プール・スポーツジム】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	日岡山市民プール（屋外）	神野町	S52	645 m ²	指定管理
2	浜の宮市民プール（屋外）	尾上町	H8	660 m ²	指定管理
3	加古川スポーツ交流館（屋内）	別府町	H13	2,023 m ²	指定管理
4	平荘湖アクア交流館（屋内）	平荘町	S57	3,819 m ²	指定管理

●共通

現状と課題
◆ウェルネスパーク内においても、屋内温水プールを設置しています。 ◆ウェルネスパーク内、日岡山体育館内、総合体育館内、陸上競技場内においても、スポーツジムを設置しています。 ◆民間においても、類似サービスを提供しています。 ◆近隣自治体においても、類似サービスを提供しています。

今後の方向性
◆屋内温水プール（ウェルネスパーク含む。）は、平荘湖アクア交流館の廃止に伴う利用状況の動向等を把握するため、現在の保有量を維持します。 ◆屋外プールは、年間を通じて2か月間のみの利用に限られることから、近隣自治体の設置状況等を踏まえ1施設に集約します。 ◆スポーツジム（ウェルネスパーク、日岡山体育館、総合体育館、陸上競技場を含む。）は、他の機能と複合的に設置されているため、現在の保有量を維持します。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。

1. 日岡山市民プール

現状と課題（◇のデータは平成28年度実績）	
機能	◆主にレジャーに利用されています。 ◆開場期間は1年間の内、約2か月間（7～8月）です。 ◇利用者数：31,053人／年 ◇支出：17,574,533円 ◇収入：14,259,678円 ◇差引（支出－収入）：3,314,855円 ◇公費負担：利用者1人あたり107円
建物	◆スタンド棟や直線スライダー、設備等、施設全体に劣化が見られます。

今後の方向性	
機能	◆施設の劣化が著しく、大規模な改修が必要となることから、次期指定期間終了時（平成35年度）での廃止について検討します。
建物	◆平成35年度まで、利用者の安全・安心に配慮した修繕を実施します。 ◆廃止後の跡地については、スポーツ施設や駐車場としての活用を検討します。

2. 浜の宮市民プール

現状と課題（◇のデータは平成28年度実績）	
機能	◆主にレジャーに利用されています。 ◆開場期間は1年間の内、約2か月間（7～8月）です。 ◆施設前の常設駐車場は駐車可能台数が少なく、公園内に別途駐車場を設けています。 ◇利用者数：60,585人／年 ◇支出：32,615,536円 ◇収入：28,513,602円 ◇差引（支出－収入）：4,101,934円 ◇公費負担：利用者1人あたり68円
建物	◆ループスライダーや設備等に劣化が見られます。

今後の方向性	
機能	◆市民プールとしての機能を維持します。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。

3. 加古川スポーツ交流館

現状と課題（◇のデータは平成28年度実績）	
機能	◆主に水泳、トレーニングに利用されています。 ◆想定される定員に近い人数が利用しています。 ◆駐車可能台数が少なく、周辺の土地を借りて駐車場としています。 ◇利用者数：143,736人／年 ◇支出：134,283,620円 ◇収入：62,090,130円 ◇差引（支出－収入）：72,193,490円（利用者1人あたり502円）
建物	◆屋上防水や外壁等に劣化が見られます。

今後の方向性	
機能	◆屋内温水プール及びスポーツジムとしての機能を維持します。 ◆民間施設等で代替が可能であることから、今後のあり方について検討します。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施します。なお、存続させることを決定した場合には、長寿命化を図ります。

4. 平荘湖アクア交流館

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆主に水泳に利用されています。 ◆平成 30 年度末での廃止を決定しています。 ◇利用者数：83,842 人／年 ◇利用率：ホール 18% ◇支出：113,286,009 円 ◇収入：55,103,191 円 ◇差引（支出－収入）：58,182,818 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 694 円
建物	◆天井、外壁などの躯体部分や設備等、施設全体に劣化が見られます。

今後の方向性	
機能	◆平成 30 年度末をもって廃止します。
建物	◆他の用途への転用が困難であるため、可能な限り早期に解体します。 ◆廃止後の跡地のあり方について検討します。

【ゲートボール場】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	屋内ゲートボール場すばーく加古川	尾上町	H10	1,202 m ²	市直営

1. 屋内ゲートボール場すばーく加古川

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆主にゲートボールに利用されています。 ◆雨天でも利用できますが、利用率は低くなっています。 ◇利用者数：8,963 人／年 ◇利用率：グラウンド 12% ◇支出：2,619,612 円 ◇収入：696,500 円 ◇差引（支出－収入）：1,923,112 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 215 円 ◆いすみプラザ、各公園等においても、類似サービスを提供しています。 ◆民間においては、類似サービスの提供はありません。 ◆近隣自治体においても、類似サービスを提供しています。
建物	◆一部に錆やシーリングの劣化などが見られますが、比較的簡易な構造の建築物であるため、大規模な改修は当面必要ありません。

今後の方向性	
機能	◆利用率が非常に低い状況ですが、大規模な改修は当面必要ないことから、屋内ゲートボール場としての機能は維持しながら、他の利用方法など、施設の活性化や有効活用について検討します。 ◆利用状況を改善できない場合は、今後のあり方について検討します。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。 ◆管理形態のあり方について検討します。
建物	◆適切な維持管理、修繕等を実施します。なお、存続させることを決定した場合には、長寿命化を図ります。

【漕艇場】

●対象施設

No.	施設名称	所在地	建築年度	建物総面積	管理形態
1	漕艇センター	上荘町	H8	1,753 m ²	指定管理

1. 漕艇センター

現状と課題（◇のデータは平成 28 年度実績）	
機能	◆主にレガッタ競技に利用されています。 ◆日本ボート協会の 1,000m B 級公認コースを取得しています。 ◆レガッタに対する市民の認知度が十分ではない状況です。 ◇利用者数：22,397 人／年 ◇利用率：宿泊施設 26%、会議室 13% ◇支出：33,149,237 円 ◇収入：4,141,302 円 ◇差引（支出－収入）：29,007,935 円 ◇公費負担：利用者 1 人あたり 1,295 円 ◆民間においては、類似サービスの提供はありません。 ◆近隣自治体においては、類似サービスの提供はありません。
建物	◆河川増水に伴う堆積物により水深が浅くなり、競技に必要なコースの長さの確保が困難になることがあります。 ◆建築後 20 年以上が経過し、管理棟、艇庫の建物内外にひびや錆が発生しています。また、設備等の劣化も見られます。

今後の方向性	
機能	◆加古川を象徴するスポーツであるレガッタ競技ができる施設であることから、漕艇場としての機能を維持します。 ◆受益者負担の観点から利用料金の見直しを行います。 ◆レガッタの普及活動を推進し、利用状況の改善を図ります。
建物	◆防水等の改修を実施します。 ◆適切な維持管理、修繕等を実施し、長寿命化を図ります。